

研修員's VOICE

Vol. 13

世界各国からJICA沖縄にやって来た
研修員を紹介しています。



アルバニアのおすすめ料理は、ラムやチキンをヨーグルトソースで焼いた「タブコシ」です。とてもおいしいですよ！



タブコシ

氏名：Mr. QOSJA Armando (マンドさん)

国名：アルバニア共和国

コース名：行政サービス改善のためのICT利活用(D)

滞在期間：2018年 2月 21日 ~ 2018年 7月 5日

アルバニアってどんな国ですか？

人口約280万人(2017年)、国土面積28,700km²(四国の1.5倍)バルカン半島の南西部に位置するアルバニアは、ヨーロッパの中で最も若い世代が多い国で、親しみやすくフレンドリーな国民性で知られています。

5000年以上の歴史と豊かな自然が楽しみ、12の国立公園や20の水中洞窟はハイキングや山岳キャンプに最適です。ヨーロッパ最後の秘境と言われるアルバニアは、近年ヨーロッパの新しい観光地として注目されています。



アルバニア北部コマン湖の美しい溪谷

どのような研修をしていますか？

私は現在アルバニア航空サービスの情報セキュリティ担当として勤務しています。研修では情報システムの運用と管理を改善するための技術や、ビジネス/ICTの問題を分析し、解決策を構築することを学んでいます。

アルバニアは近年ICTと情報のデジタル化に多くの改善がなされ、今後数年以内に全てのサービスをオンラインで実施することが目標です。日本で学んだことを国に持ち帰り、アクションプランに沿って組織のICTシステムの改善に取り組みたいです。



グループワークで課題に取り組中

沖縄での生活はどうですか？

こちらでの楽しみの一つは食事です。もともと好き嫌いがないので、日本食や沖縄料理を楽しんでいます。毎週末は友人と外出し、ビーチや御嶽、その他沖縄の新しい魅力を求めて探索しています。

沖縄に唯一望むことは、公共交通機関の情報をデジタル化することです。英語版のバスやモノレール、その他交通機関との乗継情報がなく、自力で目的地へたどり着くのは困難です。Googleマップ上で利用できる公共交通情報を整備し各言語で対応できれば、外国人観光客や沖縄に住む外国人には大変役立つと思います。



沖縄本島南部の知念岬公園にて

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、「誰一人取り残さない-No one will be left behind」を理念として、国際社会が2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針で、17のゴールが設定されています。